

令和4年度町政懇談会記録

- 1 会議の名称 令和4年度町政懇談会
(沢間区、桑野山区、千頭西区、千頭東区、寺馬区)
- 2 会議日時 令和5年1月18日(水) 午後7時から午後8時40分まで
- 3 開催場所 北部地域振興センター(総合支所2階)
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 沢間区、桑野山区、千頭西区、千頭東区、寺馬区 参加住民 29名
 - (2) 執行機関 町長 藪田靖邦、副町長 秋元伸哉、教育長 山下 斉
(出席課長) 総務課長 山田、観光商工課長 中野、くらし環境課長 梶山
(書記・庶務) 観光商工課課長補佐 北村、総務課室長 向島、
社会教育課室長 大城
(その他職員) 企画課主幹 山本雅、高齢者福祉課主幹 中村(千)
- 5 内容
 - (1) 行政からの報告(町長・副町長・教育長)
 - ・これまでの取組と今後のまちづくりの方針
 - ・デジタル技術を活用した行政サービスの向上
 - ・町の教育方針について
 - (2) 町民の皆さんとの意見交換
- 6 発言の内容
 - (1) 事前質問に対する回答等
 - (問) 台風被害により全線不通となっていた大井川鐵道が、12月16日に金谷～家山間で運行再開となったが、家山～千頭間の状況が分からない。現在の状況と今後について教えていただきたい。
 - (答) 家山～千頭間については、現在のところ復旧の目途はたっていません。箇所ごとの被災規模が大きく、復旧工事費を大井川鐵道単独で負担できる範囲を超えているため、静岡県、沿線市町、国、事業者を交え、全線復旧に向け

た課題の整理、支援策を検討しているところです。

(問) 大井川鐵道の運休により川根本町の観光が大きな痛手を受けている。特に千頭駅周辺地区は、観光客の減少により今後の見込みも立たない状況である。この状況下において町として今後どのように観光振興を考えているのか伺いたい。

(答) 今後の観光振興については、全線開通するまでの間、地域振興策として誘客イベント等の事業を実施していく予定です。

(問) 馬場地区は裏山が急傾斜地で、土砂災害特別警戒地域にも指定された危険地域で、当該地区住民の災害時の逃げ場は治山センターのある小高い丘への避難としているが、瞬時に起こる土砂崩れ等での避難は困難な状況であり、水川地区のような山留工事をお願いする。

(答) 当該地区が、擁壁工や法面工等の崩壊防止工事を実施する県事業の採択要件を満たすかどうかについて土木事務所と現場確認後協議します。

(問) 地区内の町道の一部（千頭山手支線4号）は災害時の避難路、緊急車両の進入路、救援搬送路となる道路だが、幅員3m以下では災害時に機能しないと思われる。狭隘道路の拡幅をお願いする。

(答) 現地を確認し、拡幅が必要かどうかを検討します。

(2) 意見交換

(住民) 有害鳥獣報償金を申請する際に、提出書類に写真の貼付が必要となっているが、猟場は陰しく足場が不安定な場所も多くある中で写真を撮ることは難しい。写真の提出要件を見直してほしい。

(町長) 猟を行う人の人数が減少していることも踏まえながら、極力規制や制限にとらわれることなく対応するよう、担当課と検討します。

(住民) 子育て支援について、川根本町は手厚い支援を行われていると思うが、明石市のように、おむつ無料化等更なる支援の充実化を図って欲しい。

(町長) 昨年からは、おむつと粉ミルクのクーポン配布事業を実現しています。若い人たちに当町に住んでいただけるよう引き続き支援策を検討していき

ます。

(住民) 川根本町には図書館がないので、図書館を整備して欲しい。

(町長) 図書館や公園が必要であるという声を聞きます。今後必要性などを検討していきたいと考えています。

(住民) LINE クーポン事業を利用しようとしたが、期間が短縮され利用することができなかった。また、プレミアム商品券を購入したかったが、こちらも完売で購入することができなかった。均等に配布される制度としていただけるとありがたい。

(課長) LINE クーポン事業は多くの方にご利用いただき、予算の限度額に達したため予定していた期間より早期に終了することとなりました。プレミアム商品券も早々に完売となってしまいました。今後実施する際にはこうした状況を踏まえて、実施内容を検討していきたいと考えています。

(住民) 本町の子育て支援策はとても手厚いと感じているが、子どもたちが安心して訪れることができる場所が無いと感じている。放課後児童クラブは学校の延長線上にあり、児童館のような子供の居場所のようなどころが必要だと感じている。

(課長) 現在町では、町内の公園や遊び場を紹介するマップを製作しています。今後はこのマップを踏まえながら拡充していきたいと考えています。

(町長) 子育ては地域ぐるみで対応していくことこそが大切だと考えています。

(住民) 移住定住施策を重点的に進める方針とのことだが、この町に住み続けていただくために、維持費があまりかからないことをメリットとして打ち出したらどうか。そこで、最近高くなりつつある水道料の見直しや、木材をエネルギーに変える施策を検討していただきたい

(町長) 水道料金は、より多くの方に水道水を利用していただくことで高騰を防ぐことができます。そのため、皆様には井戸水ではなく、水道水を利用していただくようご協力をお願いします。

また、過去に木質バイオマスの対応も検討しましたが、材料調達や費用面で実現できなかった経緯があります。

(住民) 大井川鐵道の運休に伴い千頭駅前の観光客は減少し、異例な状況となっている。災害だから仕方がないという訳にはいかないと思う。町は国等にどのような要望を行っているのか説明して欲しい。復旧の目途はたっているのか。

(副町長) 大井川鐵道は、コロナ禍の影響で経営状況が悪化している中で災害を受けたということで、町や国・県からの支援を要望しています。そのような中、静岡県を中心に協議の場を設置し、対応策について協議しようとしている所です。復旧の目途は現段階では明確となっていません。

(住民) 大井川の土砂問題は以前から叫ばれているが、河床は大雨が降るたびに上昇し、河川氾濫が起きれば大井川鐵道等も再び被災してしまうと思う。その点も検討していただきたい。

(町長) 毎年大井川の堆積土砂は下流域に搬出していただいています。これからも県等に対して継続的に土砂搬出を実施していくようお願いしていきます。

以上